

鶴建第6267号

平成20年10月16

国土交通省道路局長 殿

鶴田町長 中 野 撃 司



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

標記について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

青森県鶴田町

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- ・ 補助率の引き上げ及び総務省が唱える財政健全化判断比率を考慮した補助率の差別化。
- ・ 豪雪地帯における除雪事業費補助の恒常化。
- ・ 高速料金的大幅な引き下げ(距離に比例した割引率のアップ等)。
- ・ 道路・橋梁等の維持管理事業の充実。
- ・ 下水道事業による道路復旧方法の指針の見直し(半断面及び全面復旧)。
- ・ 幹線道路や渋滞解消のためのバイパス等整備への予算拡充。
- ・ バリアフリーに対応し、さらに融雪施設を備えた歩道の整備。
- ・ 通学路歩道の整備の拡充。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

青森県鶴田町

○現状

- ・ 地方自治体の財政が危機的状況にある。
- ・ 年々増大する除雪経費及び道路維持費。
- ・ 空港や県都(平成22年度新幹線開業)へのアクセス道路が未整備。
- ・ 増大する消・融雪施設整備に対する要望。
- ・ 国県市町村道を含めた通学路の歩道整備が不十分である。

○課題

- ・ 経費節減などしても捻出できない道路予算。
- ・ 伸びる除雪延長や多様化する除雪要望等に対応できない。
- ・ 国・県・町等各道路管理者が連携した道路整備計画の策定。
- ・ 除雪経費削減のため排雪など機械除雪が実施できず冬期間の良好な歩行者空間確保されていない。
- ・ 現道拡幅整備を含めた通学路歩道の全道整備及び冬期間の良好な歩行者空間の確保

- ・ 物流・観光・交流などを充実させる地域間の広域的なアクセス道路の整備による地域づくり。
- ・ 冬期間の良好な生活道路確保のための消雪施設整備の拡充。
- ・ ユニバーサルデザインを取り入れ、高齢化社会等に対応したバリアフリー道路施設の整備。
- ・ 県立中央病院など高度医療機関への時間短縮となるアクセス道路の整備。
- ・ 人優先の人に優しい道路整備。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

青森県鶴田町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 津軽横断道路 ・ 津軽自動車道	・ 高速交通網 ・ 高速交通網 平成22年度開業予定の東北新幹線、新青森駅や青森空港までの迅速な移動が期待できる。 また、救急救命センター(県立中央病院)までの時間短縮が図れる。 しかし、津軽自動車道については、当町からI. Cが遠いことや津軽横断道路についても計画ルートから外れていることなどから当町にとっての経済的効果については不透明な部分がある。	